ENJOY! DIY

釘やねじを使わずにつくる フラワースタンド

ENJOY! DIY vol.51

鉢植えや季節の花をおしゃれに飾れるフラワースタンド。木材の接合では、釘やねじを使わない「相欠き」に挑戦。繋いだクロス脚は、スタイリッシュで空間のアクセントにも。木箱にはスライドできる天板ものせ、使い勝手のよいフラワースタンドになりました。

Panasonic リフォームClub

手軽に楽しむ
DIY講座

釘やねじを使わずにつくる フラワースタンド

用意するもの

材料

●ワンバイ材（SPF）厚み19㎜、幅38㎜
→長さ60㎝　　4本
※ワンバイ材とは：基本となる木材の断面の厚みが19㎜（約1インチ）の木材

●丸棒（直径15㎜）
→長さ25.5㎝　3本

●木箱（桐BOX）
→外寸　幅37㎝×奥行27㎝×高さ16㎝

●MDF材　2枚
→木箱の外寸と内寸のサイズにカット

塗料

●水性塗料

工具

●電動ドリル
●カナヅチ
●カッターナイフ
●ノコギリ
●キリ
●ノミ
●ねじ
●木工用ボンド
●クランプ

①木材を2本重ねて、中心にねじを打つ

木材2本でクロス脚をつくります。木材の中心をはかって真ん中でねじを打ち込み、2本を貫通させます。

②クロス脚の角度を決める

木箱にあてて、脚がクロスする角度を決めたら、2本の木材が動かないようにねじを締めます。

③重ねる部分に印をつける

2本の木材が重なる部分に、尖った鉛筆で線をひきます。

④厚みの半分のところに線をひく

ねじをはずして、木材の厚みの半分のところをはかり、欠き取る部分に印をつけます。

⑤線の内側に切り込みを入れる

線の内側に、カッターナイフで道筋をつけてから、ノコギリでまっすぐに切り込みを入れます。

⑥ノミを当てカナヅチで打つ

ノミを線の内側に当てます。刃先をしっかりと見ながら、カナヅチがかつら（金属の輪）に垂直にあたるようにたたきます。

⑦ノミで削り取り水平にする

ノミは線の少し上からスタートします。一方向から全て削り取らず、中央に向かって両側から削り取るようにします。

⑧もう1本の木材も同様にする

同様に木材の厚みの半分を欠き取ります。

⑨カナヅチで、組み合わせる部分を面取りする

カナヅチの丸い面でたたいてへこませておくと、木材2本がはめ込みやすくなります。

⑩木材2本を組み合わせる

あて木をして、カナヅチで軽くたたきはめ込みます。

⑪脚底を平らに加工

脚に板を沿わせて鉛筆で線をひいてカットしてください。ノコギリで切る際、端材を敷いておくと安定します。

⑫丸棒の真ん中にキリで下穴をあける

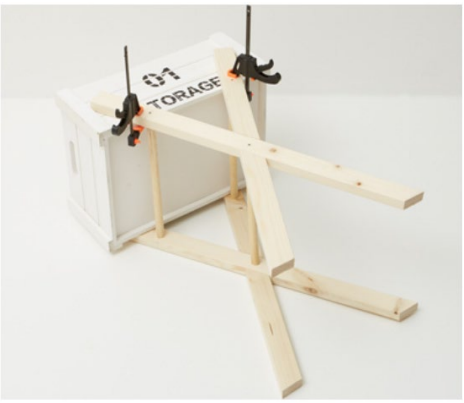
鉛筆で真ん中に印をつけて、穴をあけます。

⑬両脚を連結して安定させる

２つの脚と丸棒3本をねじで留め繋げます。

電動ドリルで穴をあけます。クランプで脚と木箱を固定すると、穴あけの際、作業がラクにできます。

丸棒の3本は、クロス脚の上部2カ所と中心部で繋げて２つの脚を連結させます。



⑭台になるクロス脚の完成

脚と丸棒をねじ留めし繋げますが、木箱とは接合しません。

両脚を丸棒で連結したので、スタンドが安定して自立します。

⑮着色する

クロス脚と丸棒を水性塗料で着色します。

⑯スライド天板をつくる

MDF2枚を、木箱の外寸と内寸のサイズにカットします。木工用ボンドを塗り、貼り合わせます。

⑰完成

木箱はのせているだけ。クロス脚がアクセントのフラワースタンドの完成です。

天板があるので、ソファ横に置いて、サイドテーブルとしても使えます。

☑POINT

「相欠き（あいかき）」について

相欠きとは、木材同士を半分づつ欠き取って組み合わせる繋ぎ方。
釘やねじを使わずにきれいに接合できます。

●線をひくとき
厚みの半分のところに線をひきます。
鉛筆の先をとがらせて、直角の線をひいてください。

●切り込みを入れるとき
切り込みを入れるのは、線の内側に。
刃がまっすぐについているアサリなしノコギリなら、刃が左右交互に振られていないので、狙ったところにきれいに切り込みを入れることができます。

●欠き取るとき
コの字（凹）に、ノミで欠き取ります。
一方向から全て削り取らず、中央に向かって両側から削り取るように。欠き終わったら、高さもチェックしてください。